

公益財団法人 大阪府国際交流財団

事業名	留学生等のための災害訓練・多言語支援センター設置訓練			
実施期間	2013年6月29日(土)			
場所	大阪府堺留学生会館オリオン寮			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	22名	16名	27名	65名

<実施内容>

大阪府堺留学生会館オリオン寮にて、6月29日(土)留学生、ボランティア、府・市町村スタッフ等の他、講師、運営スタッフを含め総勢65名の参加を得て「留学生等のための総合防災訓練」を実施しました。
この訓練は、大阪が大規模な地震に襲われたことを想定し、地震等の経験があまりない留学生等を対象とした避難所体験と災害時外国人支援に取り組むボランティア等を対象とした多言語支援センター設置訓練を並行して実施しました。



避難所体験では、会議室にブルーシートを敷き留学生等がその上に座り、大規模な震災のDVDを見て、震災時どうすれば身の安全が守れるか、避難所に無事辿り着いたらどうすれば良いかなどのお話をし、昼食には非常食を体験してもらいました。昼からは、避難所に巡回に訪れたボランティアに対し、被災者役として色々な質問をしてもらいました。
また、北堺警察署から防犯指導、堺北消防署からは119番通報の仕方や消火器の使い方、AEDを使った心肺蘇生方法などの救命救急指導もいただきました。

多言語支援センター設置訓練では、避難所に避難している外国人の状況把握や災害対策本部から流れてくる沢山の災害情報の中から被災者にとって特に必要な情報を選別し、多言語に翻訳し、避難所を巡回して被災者に届け、相談に応ずる訓練を行いました。日本人ボランティアに交じって留学生も頑張っていました。

「今まで防災訓練を受けたことがないから、勉強になり、楽しかった」などの感想をいただきました。

OFIXでは今後とも災害時の外国人支援事業を引き続き実施する予定です。

<参加者からのコメント>

〇〇さん

防災に対する意識を高めることが大事なんだなと思いました。消火器の使い方や災害時の行動について詳しく知ることができ勉強になった。

〇〇さん

今まで防災訓練を受けたことがないから、今日は習った良かった。